

「不都合な真実と向き合う勇氣」

「不都合な真実」という書籍が一世を風靡した事がありました。地球が温暖化し

あるという事ではないでしょうか？

続ける実務的機能を持って

なければならぬはずで

ており、それが将来の人類の

世界では残念ながら戦乱

の絶える事はありません。日

本だけが今後も戦乱に巻き

込まれないと信じる事は、残

念ながら神話でしかないで

しょう。日本が戦乱に巻き込

まれない為の対策について議

論すら難しい政治状況が続

いてきた事は、あれ程悲惨な

敗戦の記憶が生々しい我が

国においては、戦争という言

葉そのものが忌むしいと、瞬

発的に忌避することは、心情

的には致し方無いとしても、

原発の事故を信じたくない

かった人達と同じ悲劇を招

きかねない危険をはらんで

いるという事実から、目を背

けてはならないと思います。

憲法改正の議論が始まり

つつあります。憲法は、国を

す。神話であっては国民の命

と暮らしを守ることは出来

ないからです。しかし、日本

国憲法の前文には、「平和を

愛する諸国民の公正と信義

に信頼して、われらの安全と

生存を保持しよう」と決意し

た。」とあり、私達の安全と

生存を外国に依存するとい

う意味の宣言をしており、自

分で自分を守らなくても他

人が守ってくれるという考

え方で、神話と言わざるを得

ない文言が前提となっていま

す。理想は大いにうたって構

わないと思いますが、それが

実質を損なう程の幻想で

あつてはならないと思いま

す。想像もしたくない程の災

厄を回避するには、目を背

け、議論すら避けるのではな

く、キチンと向き合って、合

知性が正しく働く為

は、実は勇氣が一番大切だと

思います。意気地無さの前に

知性が陥落する姿を至る所

で目にします。真の知性と

は、知的な表現力のことでは

なく、不都合でも真実を正

しく表現する勇氣であると

思います。勇氣無き知性は言

葉を飾る遊戯に等しいと思

います。

目を背けたくなる事実

に勇氣を持って向き合い、厳し

くとも答えを出せるか否か

が、私達日本人に今問われて

いると思います。

Facebookでも活動報告を行っています。〈Facebook アドレス〉 <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください! お待ちしています。

あ な み よ う い ち

衆議院議員

穴見陽一

後援会
事務所



〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net